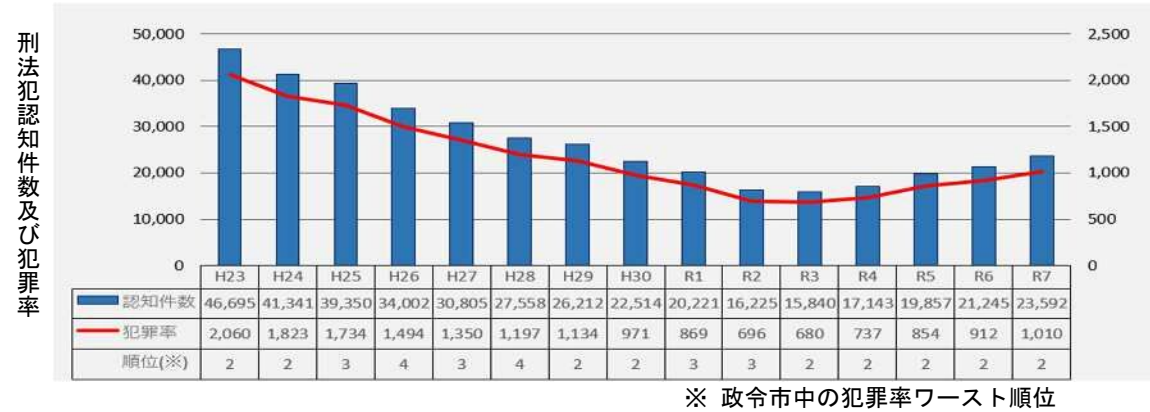


名古屋市犯罪抑止対策 2026 ～犯罪に強いまちをめざして～

1 現状

(1) 刑法犯認知件数等の推移

- ・令和7年の市内刑法犯認知件数は23,592件で、前年に比べ2,347件（11.0%）の増加。
- ・犯罪率は1,010件で前年に比べ98件（10.7%）の増加となり、4年連続して増加。
- ・犯罪率は政令市で5年連続してワースト2位となっている。



(2) 犯罪率(※)の政令指定都市比較 ※人口10万人当たりの認知件数

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1位	大阪 1,116件	大阪 1,223件	大阪 1,424件	大阪 1,435件	大阪 1,439件
2位	名古屋 680件	名古屋 737件	名古屋 854件	名古屋 912件	名古屋 1,010件
3位	福岡 629件	福岡 705件	神戸 800件	福岡 873件	福岡 940件

2 推進目標

増加傾向にある刑法犯認知件数を再び減少させ、犯罪率において政令市ワースト3位内からの脱却を目指す

3 重点犯罪

認知件数が多いことや、市民生活に大きな不安を与えている **特殊詐欺等** **自動車盗** **住宅対象侵入盗** **自転車盗** **子ども及び女性を対象とした犯罪** を重点犯罪に指定して対策を推進していく。

4 施策

(1) 基本の考え方

市民、事業者及び市が一体となって**防犯意識の高揚** **地域防犯力の向上** を推進していく。

(2) 重点犯罪対策

区分	概要
共通	① 地域団体が行う防犯カメラの設置・防犯灯LED化・電気料助成を実施し、地域へ活用を働きかけ ② 犯罪多発地域において、青色回転灯装備車による防犯パトロールを実施 ③ 地域の要望に応じ、防犯市民講座等を実施し、各種被害防止対策を啓発 ④ 犯行手口の実演や防犯機器の使用体験講座を実施し、住宅対象侵入盗や自動車盗を中心に被害防止対策を啓発

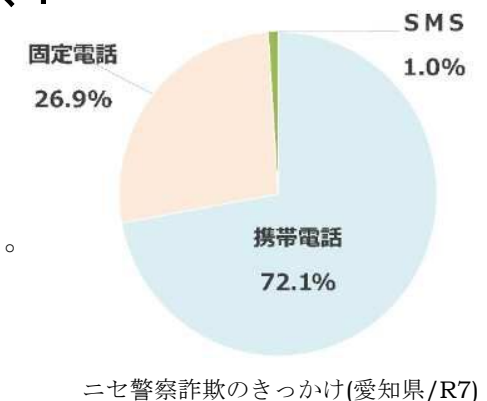
特殊詐欺等	①手口と対策についてのリーフレットの配布・各種広報媒体での発信 ②スマートフォンによる被害の防止対策の啓発 ③SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺仮想体験ツール等を活用し、手口と対策について啓発 ④高校生・大学生向けに、闇バイトの危険性について啓発
自動車盗	①市内自動車販売店・市営駐車場等での被害多発車種(※)に関する啓発チラシの掲示 ②市営住宅駐車場の配置・構造の工夫や照度の確保を行う ※ランドクルーザー、レクサスLX、プリウス、アルファード等
住宅対象侵入盗	①多発地域において対策強化を図るため補助錠等の対策グッズを配布 ②市営住宅等のエレベーター内において、要望に基づき防犯カメラを設置
自転車盗	①共同住宅駐輪場等で、無施錠防止のポスターを掲出 ②自転車の安全利用イベント等での自転車盗難防止の啓発やワイヤーロックの配布によるツーロックの呼びかけ ③市営有料自転車駐車で管理員等による巡回、場所により防犯カメラの設置等
子ども及び女性を対象とした犯罪	①学校・園で防犯教室を開催し、保育所等利用児童への連れ去り防止標語「つみきおに」「いかのおすし」の指導を実施 ②小学校新入学児童へ防犯ブザーを配布・中学生へ防犯ブザー利用を促す ③保護者へ「なごやっ子あんしんメール」を通じ、不審者情報を提供 ④公共交通機関における、ポスターの掲出やスポット放送等の痴漢対策の実施

(3) その他(トレンド)の犯罪対策

子どものSNS	①ネットパトロールによるSNS上の書き込み等の監視 ②啓発資料による情報モラル教育等の推進
---------	--

<新たな取組み>スマートフォンによる特殊詐欺被害を防ぐ!

認知件数は前年比の約1.5倍、被害額は約3倍と深刻な被害状況。
うちニセ警察詐欺が全体の約半数を占め、被害の約7割が若者・中年(20~50代)
また、ニセ警察詐欺のきっかけはスマートフォンが約7割を占める。
詐欺対策アプリをインストールして、スマートフォンの不審な電話をブロックしよう!



(4) 各区重点対策

重点犯罪対策のほか、各区の犯罪実態に即した対策を重点的に取り組んでいく。

区	現状		対策
千種区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は1,196件で、前年に比べ2.3%増加した。 ・ 重点犯罪の特殊詐欺については、48件で前年に比べ9.1%増加し、実質被害総額は82.4%増加し、2億円を上回った。 ・ 区内で最も認知件数が多い自転車盗については、319件で前年に比べ18.1%増加している。 ・ 住宅対象侵入盗については、26件で前年に比べ7.1%減少しているが、自動車盗については、23件で前年に比べ43.8%増加している。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊詐欺については、警察と連携し、偶数月の年金支給日に商業施設及び銀行のATMでの被害防止キャンペーンを実施するほか、多発している手口や防止対策について具体例を提示して各世代に向けて注意喚起を行う。また、詐欺の加害者となり得る高校生・大学生に対して闇バイト防止の啓発活動を実施する。 ・ 自転車盗については、被害が多発している地域にて、ツーロックの日を始め警察と協働して盗難防止対策を実施するほか、自転車利用の機会が多い高校生・大学生に向けて自転車用ワイヤーロックと啓発チラシを配布する。 ・ 住宅対象侵入盗については、地域における発生予防対策として、町内会等による防犯カメラの設置を案内するとともに、盗難多発地域にて地域や警察と連携した啓発活動を行い、青色回転灯装備車によるパトロール・広報を重点的に実施する。 ・ 自動車盗については、ハンドルロックや駐車場所の施錠などを組み合わせた防犯対策の広報に努め、販売店とも連携して啓発を実施する。
東区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は997件で、前年に比べ33件の増加となった。 ・ 重点犯罪の特殊詐欺については、43件で前年に比べ23件の大幅な増加となった。 ・ 重点犯罪の自転車盗については、328件で前年に比べ9件の増加となり、刑法犯認知件数でも大きな割合を占めている。 ・ 重点犯罪の自動車盗については、22件で前年に比べて10件の大幅な増加となった。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊詐欺については、東警察署と連携し、偶数月の年金支給日における被害防止キャンペーンや高齢者が多く集まるふれあい給食会での広報、警察官を騙ったオレオレ詐欺、還付金詐欺やキャッシュカード詐欺盗被害防止の啓発動画の放映を実施する。 ・ 自転車盗については、ツーロックの日を中心とした被害防止キャンペーンの実施や、ツーロックを呼び掛ける動画を区のSNSや区役所1階行政情報モニターで放映し、自転車盗被害防止を呼び掛ける。 ・ 自動車盗は、青色回転灯装備車による防犯パトロールを実施し、警察との連携を深めるとともに、犯罪を起こさせない環境づくりを呼び掛ける。
北区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は1,335件で、前年に比べ4.7%増加した。 ・ 重点犯罪対策の特殊詐欺について、市内ワースト1位の被害額だった令和6年、昨年は7位と順位は下がったが、件数は前年より15件増加の65件、被害額も約1億4千万円以上増加し約3億2700万もの被害となった。 ・ オートバイ盗、部品ねらいが前年より大きく増えた。自転車盗は昨年同様の水準で少なくない件数。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車盗については従来通り短時間でもツーロックをするよう啓発活動を実施する。 ・ オートバイ盗、部品ねらいは住宅地や月極駐車場で被害にあうことが多く、防犯灯や防犯カメラの設置を促進して、地域住民の防犯意識の向上を図った広報活動を行う。 ・ 青色回転灯自動車を使った広報活動を計画的に行う。(愛知県警察 HP 安心・安全マップの発生状況を参考に広報活動を行う) ・ 特殊詐欺について、警察と連携し高齢者に限らず若年層にもチラシ配付などで呼びかけ、被害者も加害者も出さない啓発活動を行う。
西区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は1,492件で、前年に比べ212件(16.6%)増加した。 ・ 自転車盗は459件で、前年に比べ7.6%減少したが、刑法犯認知件数の約3割を占めた。 ・ 自動車盗は22件で、前年に比べ15.4%減少したが、住宅対象侵入盗は20件で、前年に比べ53.8%増加した。 ・ 特殊詐欺は68件で、前年に比べ58.1%増加した。 ・ 特殊詐欺の被害額は219,333,313円で、全区平均(278,538,135円)と比べて21.3%下回っているものの、前年に比べ268.6%増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯のLED化や防犯カメラの設置を促進するため、設置補助事業の積極的な広報を実施する。 ・ 毎週月曜日の「西区防犯の日」を中心に青色回転灯装備車による防犯パトロールなどを行い、犯罪の起こらないまちづくりを呼びかける。 ・ 刑法犯認知件数の中で最も多い自転車盗対策については、昨年度、西警察署や区内関係機関、大規模商業施設等と連携し、毎月24日の「西区自転車安全利用の日」において啓発を行ったほか、区内主要駅や区役所・支所内の駐輪場においてワイヤーロックを配布した。その結果自転車盗は昨年比7.6%減少したため、引き続き実施していく。 ・ 自動車盗、住宅対象侵入盗対策については、犯罪対策重点学区に防犯診断士を派遣し、防犯セミナーや該当地域への防犯診断を兼ねた防犯パトロールを実施する。また、防犯セミナー参加者に対して住宅対象侵入盗対策として補助錠を配布し、啓発を行う。 ・ 特殊詐欺については、西警察署や区内関係機関等と連携し商業施設等で被害防止を呼びかける。また、防犯セミナー等で各種詐欺の手口や対策を周知する。 ・ 子ども及び女性を対象とした犯罪については、夏休み中などに開催するイベントにおいて、生活安全に関する子ども向けの啓発講話を行い、防犯意識を高める。また、西警察署と連携し、盗撮・痴漢防止のキャンペーンを実施し、被害防止を呼びかける。

区	現状		対策
中村区	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の刑法犯罪認知件数は 2,632 件で、前年に比べ 259 件 (10.9%) の増加となり、令和 4 年から 4 年連続で増加傾向にある。 ・重点犯罪について対策を講じた結果、自動車盗は減少したものの、自転車盗は市内で 2 番目に多い 638 件であった。 ・特殊詐欺については 81 件で、前年に比べ 31 件 (62%) 増加し、市内で 1 番目に多い被害件数となった。また、被害額は 2 億 4 千万円以上増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・重点犯罪のうち特殊詐欺については、被害総額が大幅に増加していることから、広報なごやなどによる情報発信、高齢者の集まる機会を捉えて被害防止講座を実施する。また、警察や金融機関と連携して、年金支給日などに金融機関窓口において被害防止のキャンペーンを実施する。 ・市内でワースト 2 位である自転車盗の対策として、被害の多発する駅や駐輪場での啓発活動を実施するとともに、自転車利用者へのワイヤーロックの配布を通じてツーロックの徹底を呼び掛ける。 ・住宅対象侵入盗については、被害が発生した学区を対象に、住宅対象侵入盗への注意喚起をするチラシなどを各戸配布するほか、実践的な対策講座を開催し、補助錠や防犯フィルムを配布して利用を促す。 ・被害が減少した自動車盗については、引き続き警察署と連携して、被害が多い特定車種の所有者を対象に注意喚起を行う。 ・定期的に青色回転灯装備車でパトロールを実施し、重点犯罪に関する広報アナウンスによる注意喚起を行う。
中区	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の刑法犯認知件数は 3,488 件で、前年に比べて 214 件の増加 (前年比+6.5%) し、強盗 (15 件)、恐喝 (19 件)、自転車盗 (989 件)、車上ねらい (65 件)、ひったくり (7 件)、自動車販売機ねらい (6 件)、侵入盗 (111 件) などは市内で最も多い被害となり、刑法犯総数も市内で最も多かった。 ・特殊詐欺については、15 件の発生で前年に比べると 14 件の減少だったが、実質被害総額は約 4,800 万円の増加である。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や警察と連携しパトロールや啓発活動を実施し、防犯意識の高揚に努めるとともに、青色回転灯装備車によるパトロール、広報で注意喚起を促す。 ・自転車盗対策としては、ツーロックの日にワイヤー錠を配布しツーロック促進に努め、5・11 月の強化月間では駐輪場周辺など自転車の通行が多い場所での啓発活動をする。 ・特殊詐欺防止対策として、警察や中区広報大使とのキャンペーン等による啓発を実施する。
昭和区	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の刑法犯認知件数は 707 件で、前年に比べ 3.8% の増加となった。 ・特殊詐欺の被害件数は 48 件で、前年に比べ 11.6% の増加となった。被害総額は約 1 億 4,100 万円で、前年に比べ 121.6% の増加となった。被害件数の内訳は、オレオレ詐欺及び還付金詐欺が増加し、預貯金詐欺及び架空料金請求詐欺は減少した。また、SNS 型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害件数は 26 件で、前年に比べ 136.4% の増加となった。被害総額は約 3 億 1,400 万円で、前年に比べ 147.2% の増加となっており、件数・被害額とも急増した。 ・自転車盗は、前年より 15.0% 減少したが、刑法犯認知件数の 25.0% を占めている。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 3 木曜日の「昭和区防犯の日」を中心に防犯パトロールを実施するとともに、地域住民による防犯ボランティア団体である昭和ウォッチングなどの地域住民と連携した啓発活動により防犯意識を高める。 ・特殊詐欺や SNS 型詐欺については、昨年度に引き続き区役所で行われる行事での啓発や、高齢者やその家族が来所するいきいき支援センターや福祉会館等と連携して啓発を行う。また、昭和警察署と連携して、人の多く集まる商業施設での啓発活動の回数を増やす。実施においては、急増している SNS 型投資詐欺等、多様化する手口に応じた啓発を行うことに努める。 ・自転車盗については、これまで地域と連携して行ってきた自転車教室等での啓発や青色回転灯装備車による巡回に加え、「ツーロックの日」に昭和警察署と連携して被害多発地域など効果的な場所で、犯行を思いとどまらせる仕掛学を活用したタグを自転車に貼る啓発活動を行う。
瑞穂区	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の刑法犯認知件数は、12 年連続 16 区の中で一番少ない 653 件であるが、前年に比べ 30 件 (4.8%) 増加した。 ・重点犯罪のうち、特殊詐欺は 50 件で前年に比べ 10 件 (25.0%) 増加し、実質被害総額も約 2 億 1,257 万円と、前年に比べ約 1 億 2,293 万円 (137%) と倍増以上となった。 ・一昨年は大幅に増加した自転車盗は 137 件で前年に比べ 7 件 (4.9%) 減少した。 ・自動車盗は 20 件で前年に比べ 5 件 (33.3%) 増加したが、住宅対象侵入盗は 12 件で前年に比べ 7 件 (36.8%) 減少した。 ・SNS 型投資詐欺は 39 件で前年に比べ 15 件 (62.5%) 増加し、実質被害総額も約 4 億 9,786 万円と、前年に比べ約 7,309 万円 (17.2%) 増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・被害が大幅に増加した特殊詐欺等の対策については、瑞穂警察署と連携してキャンペーンや広報なごやによる啓発活動を実施する。ほかにも、区役所内に設置した啓発メッセージを印刷した椅子カバーや DVD の放映及び民生委員による巡回見守り活動 (M アラート) などにより、被害防止のための注意喚起を実施する。 ・自転車盗についても、認知件数は減少したものの、引き続き区内主要駅や、区役所駐輪場などでの啓発活動を実施し、自転車利用者にワイヤーロックを配布してツーロックの徹底を呼び掛ける。 ・自動車盗をはじめとした刑法犯認知件数の減少に向けて、青色回転灯装備車によるパトロールの実施や、警察署と連携した啓発キャンペーン、ジョギングパトロールの推進などを行う。
熱田区	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の刑法犯認知件数は 773 件で、前年に比べ 38 件の増加となった。 ・重点犯罪は、自転車盗、住宅対象侵入盗が減少した。一方で、自動車盗は 10 件、子ども及び女性を対象とした犯罪は 13 件増加した。また、特殊詐欺は還付金詐欺、SNS 型詐欺が増加し、被害総額は約 4 億 6,000 万円を超え、昨年と比較して約 3 億 8,000 万円増加した。 ・重点犯罪以外では「部品ねらい」「車上ねらい」がそれぞれ 10 件以上増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺及び闇バイト加担防止については、若年層向けに学校との協働による啓発及び公式 SNS 等による周知を実施し、高齢者向けにはふれあい給食会や学区サロン等の機会を活用した啓発や広報なごやへの記事掲載など、世代にあわせた情報発信、啓発活動を実施する。 ・また、引き続き地域の皆様、警察や郵便局などと協働して、街頭キャンペーン等の啓発活動を実施する。 ・自動車盗は、青色回転灯装備車による定期的なパトロールを実施し、広報アナウンスによる注意喚起及び公式 SNS 等での啓発活動を実施する。 ・自転車盗は、「ツーロックの日」などの機会を捉え、ワイヤーロックを配布し、少しの時間でも必ずカギを掛け、ツーロックするよう啓発活動を実施する。

区	現状		対策
中川区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は 2,071 件で、前年に比べ 7.6% 増加となった。 ・ 重点犯罪対策のうち特殊詐欺については増加したが、市内の認知件数が大幅に増加しており、順位は相対的に下がっている。 ・ 重点犯罪対策のうち住宅対象侵入盗については、前年に比べて減少した。 ・ 重点犯罪対策のうち自動車盗、自転車盗については、前年に比べて増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊詐欺、自動車盗、自転車盗について、中川警察署を始め各機関と連携し、犯罪多発地域にてキャンペーンを実施する。また、各犯罪の発生状況を落とし込んだ犯罪注意マップを作成し、広報及び防犯活動に活用する。併せて高校生と連携した啓発品を作成、配布し、犯罪対策に対する意識を訴求する。 ・ 上記の対策に加え、特殊詐欺については、ふれあい給食会等の高齢者が集まる機会において講話を実施する。 ・ 小学校と連携し、学校の授業内で防犯対策教室を開催し、子どもの防犯力の向上をはかる。 ・ その他の罪種についても、防犯のキャンペーン啓発を随時行う。
港区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は 1,768 件で、前年に比べ 228 件増加（前年比 14.8% 増加）となった。 ・ 重点犯罪のうち、特殊詐欺については、39 件と前年に比べて 8 件増加（前年比 25.8% 増加）した。被害総額は約 660 万円減少した。 ・ その他の重点犯罪については、住宅対象侵入盗は 27 件で前年と比べ 17.4% 増加、自動車盗は 43 件で前年と比べ 22.9% 増加、自転車盗は 478 件で前年と比べ 22.6% 増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者、行政機関等で構成する港区犯罪抑止対策専門部会において、犯罪情勢に応じた抑止対策を協議するとともに、各機関の連携強化を図る。 ・ 特殊詐欺については、警察や郵便局をはじめとした金融機関と連携した特殊詐欺被害防止キャンペーン等を実施するとともに、特に被害者となりやすい高齢者が集まる高齢者サロン等の機会を活用して、被害防止を呼び掛ける。 ・ 住宅対象侵入盗及び自動車盗（自動車関連窃盗）については、被害が多発した学区の「犯罪発生マップ」を作成し、地域住民に分かりやすく、被害の状況や対策を周知することで防犯意識の向上を図る。 ・ 自転車盗については、「ツーロックの日」に合わせ、区内鉄道各駅でのワイヤーロック配布や区内中学校・高校での防犯講話に加え、新たに港警察署や港土木事務所と連携した区内自転車駐輪場における仕掛学の活用など、様々な機会でのツーロックの徹底を呼び掛ける。 ・ 広報なごやや定期的な青色回転等装備車の活用、地域との協働による防犯パトロールにより、区民の防犯意識の向上を図り、刑法犯認知件数の減少を目指す。
南区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は 1,212 件で、前年比 94 件増加(+7.8%) した。 ・ 特殊詐欺は、65 件と前年比 27 件増加(+41.5%) し、実質被害総額は約 39,685 万円と前年比約 31,625 万円増加(+79.7%) した。 ・ 住宅対象侵入盗は、20 件と前年比 1 件減少(-4.8%) した。 ・ 自転車盗は、254 件と前年比 20 件減少(-7.3%) した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊詐欺については、高齢者や現役世代に照準を定め、年金支給日などに南警察署や区内金融機関、地域などと連携し、キャンペーンや防犯講話などで啓発品やチラシを配布し、区民の意識啓発を図る。 ・ 住宅対象侵入盗については、補助錠などの啓発品やチラシをキャンペーンで配布するなどして、注意喚起を行う。 ・ 自転車盗については、5 月、11 月の市の「放置自転車追放月間」、「自転車安全利用促進強化月間」の機会をとらえ、啓発品やチラシをキャンペーンで配布するなどして、啓発活動を実施する。 ・ その他、防犯カメラ設置の促進及び設置補助事業の積極的な活用に向けた広報や防犯灯の LED 化の支援、青色回転灯装備車によるパトロールなどを通して、犯罪の発生防止に努める。
守山区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は 1,265 件で、前年と比べ 229 件増加した。 ・ 重点犯罪については、住宅対象侵入盗は 39 件（前年対比 +4 件）、自動車盗は 24 件（-3 件）、自転車盗は 357 件（+79 件）、特殊詐欺は 54 件（+8 件）となり、住宅対象侵入盗、自転車盗及び特殊詐欺の被害が増加した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅対象侵入盗については、在宅時、不在時いずれも確実な施錠を行い、補助錠や警報機などの防犯設備の設置、知らない来訪者は直接対応しない等の来訪者の対処法を検討する等の対策を呼び掛ける。 ・ 自動車盗については、確実な施錠を行うとともに、警報機、ハンドル固定装置、タイヤロック、セキュリティのアップグレードなどの複数の盗難防止対策を行うよう呼びかける。またガレージやセンサーライトを設置するなどの駐車場の安全対策、ナンバープレートの盗難防止のために盗難防止ネジの取付けを行うよう呼びかけ、これらに関する啓発チラシを配布し、盗難防止の推進を図る。 ・ 自転車盗については、少しの時間でも必ずカギをかけるよう呼びかけるとともに、防犯登録やツーロックの推進啓発を図る。 ・ 特殊詐欺については、警察と連携し、多様化する特殊詐欺の手口をふまえた防犯講座の実施やチラシ・啓発品を配布し、犯罪被害の防止の取り組みを行う。在宅中でも留守番電話設定にすることや、録音機能や着信時に警告メッセージが流れる被害防止機能付き電話機の活用、国際電話利用休止の普及促進などの固定電話機の対策を呼びかける。また、スマートフォンに対する警察官騙りの特殊詐欺の電話が急増しているため、詐欺対策アプリのインストールを呼びかける。 ・ 子ども及び女性を対象とした犯罪については、防犯ボランティアと連携して合同パトロールの実施、チラシ・啓発品を配布するなどにより子どもや女性が対象となりやすい性被害などの犯罪の抑止を図る。 ・ その他の罪種についても、被害実態に応じて啓発チラシ等の配布や防犯講座、パトロールなどを行い、注意を呼びかける。

区	現状		対策
緑区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は1,452件で、前年に比べ4.5%の増加となった。 ・ 重点犯罪対策の特殊詐欺については、認知件数62件(+51.2%)、被害額は約3億3千万円(+222.1%)と深刻な状況となっている。また、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺も、認知件数31件(+158.3%)と被害が急増している。 ・ その他の重点犯罪については、自動車盗は認知件数37件と前年比で9.8%減少したが、住宅対象侵入盗は39件(+50.0%)、自転車盗は313件(+20.8%)と被害が拡大した。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増加に歯止めがかからない特殊詐欺、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺について、多発している手口の情報を集約し、迅速な情報提供により注意喚起を行う。また、緑警察署や区内の金融機関と連携したキャンペーンを行い、被害の未然防止に努めるとともに、犯罪への加担につながる闇バイトの危険性について啓発する。 ・ 住宅対象侵入盗については、キャンペーンや防犯講話により、補助錠や防犯砂利などの比較的取り組みやすい対策を紹介する。 ・ 自転車盗については、駅や商業施設の駐輪場でキャンペーンを実施し、施錠の重要性について伝え、被害防止を呼び掛ける。
名東区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は917件で、前年の780件に比べ17.6%増加し、また街頭犯罪等総数も49件増加して322件となった。 ・ 重点犯罪については、特殊詐欺の認知件数が前年より25件増加して56件となり、被害額は前年比約380%増の約3億5,300万円と大きく増加した。その中でも、還付金詐欺は前年比600%増の24件で、市内で最も多く発生している。 ・ 住宅対象侵入盗は前年より19件減少し、14件となったものの、自転車盗は27件増加して181件となり、自動車盗は8件増加し22件となった。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊詐欺対策として、高齢者の集まるふれあい給食会などで、犯罪の手口や対策について講話する機会を設けるほか、パートナーシップ事業(注)に協力していただいている事業者と連携して、金融機関やATMの利用者にチラシや啓発品の配布等を行い、還付金等詐欺被害の未然防止に努めていく。 ・ 自転車盗、自動車盗被害が多発している学区を中心に青色回転灯装備車による巡回を強化し、広報音声により注意を呼びかける。また、区役所や大型商業施設で実施する防犯キャンペーンの際に、チラシや補助錠を配布して、啓発する。 <p>(注) 事業者連携「パートナーシップ事業」とは、平成27年度から区内の金融機関等に働きかけをし、生活安全運動に関わる(主に特殊詐欺)事業に賛同可能な事業者を募り、区長と事業者が協力や連携などを目的に締結するもの。</p>
天白区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の刑法犯認知件数は1,096件で、前年に比べ28%の増加となった。 ・ 重点犯罪については、住宅対象侵入盗は24件で前年比+10件、自転車盗は219件で前年比+19件であった。 ・ 特殊詐欺は60件で前年比+34件、被害額は約3億3,000万円で市内ワースト5位、前年比約+1億8,000万円となっている。 ・ SNS型投資詐欺及びロマンス詐欺は57件で前年比+35件、被害額は約6億9,000万円で市内ワースト2位となっている。 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅対象侵入盗については、人が多く集まるスーパー等において補助錠等を配布するキャンペーンを通じて、施錠の徹底を働き掛ける。 ・ 自動車盗・部品ねらいについては、ナンバープレート盗難防止ネジ取付無料キャンペーンの実施に併せて、ハンドルロックやタイヤロック等の複数の防犯対策を呼びかける。 ・ 自転車盗については、年2回、近隣の学生ボランティア団体や地域団体と連携して、大学や駅の駐輪場でワイヤーロックを配布、学生等の若年層への自転車の2か所施錠を呼び掛ける「ツーロックキャンペーン」を実施。 ・ 特殊詐欺については、広報なごや区版への記事掲載、巡回広報の実施、また警察署と連携して、街頭キャンペーンや、高齢者の方が集まる機会を捉えての講話等を行い、自宅の電話を常に留守番設定にしておくことを、自分だけでなく家族や友人にも呼び掛けてもらう「常に留守番電話声掛け運動」の実施を進める。 ・ 子ども及び女性を対象とした犯罪については、夏休み期間におけるプール等、親子が多く集まる施設での子ども対象犯罪防止啓発物品の配布や、巡回広報にて防犯啓発を行う。 ・ 青色回転灯装備車による防犯パトロールを実施するとともに、年末には、「青色防犯パトロール出発式」を行い、地域や警察との連携を深めるとともに、犯罪を起こさせない環境づくりを呼び掛ける。